

総務常任委員会

委員会開催日 12月9日

(文責・松瀬 清委員長)

施策に期待する!

今回、本委員会に付託を受けました案件は承認1件、議案13件、請願1件で、審査の結果、原案のとおり承認、可決、及び採択しました。

ここでは、特に審査の中で出された主な意見、要望などをお知らせします。

(【】は所管課名)

選挙掲示板、見直しを!

ポスター掲示板について、設置箇所数は、公職選挙法施行令に基づき選挙区の有権者数と面積によって算定するもので、これを減らす場合は、関係機関との協議が必要になるため一定の期間を要することである。

本委員会は、見直しは地域の実情をよく知る選挙管理委員会交えて進め、事務的・時間的軽減を図るよう要請した。

【選挙管理委員会】

予想を大きく上回るふるさと納税について、寄附金額の50パーセント相当になる特典ポイント利用の経費を、次年度以降は積立金から特產品振興として支出することを検討しているとのことである。

本委員会は、人口減少抑制対策にふるさと納税を活用することに賛同するとともに、その施策に期待する。

【財務部企画財政課】

結果、住民に欠くことがない交通手段の確保に必要な補正であると判断した。

【総務部地域協働課】

ヤと車種の取扱選択・車両の支払い等、多岐多様にわたり総合的に見直し・検討を行うとともに、未だ返還がない委託料の過払金については、法度以降は積立金から特產品振興として支出することを検討しているとのことである。

本委員会は、人口減少抑制対策にふるさと納税を活用することに賛同するとともに、その施策に期待する。

今後は、委託の方針・ダイヤと車種の取扱選択・車両の支払い等、多岐多様にわたり総合的に見直し・検討を行うとともに、未だ返還がない委託料の過払金については、法度以降は積立金から特產品振興として支出することを検討しているとのことである。

本委員会は、人口減少抑制対策にふるさと納税を活用することに賛同するとともに、その施策に期待する。

【財務部企画財政課】

予想を大きく上回るふるさと納税について、寄附金額の50パーセント相当になる特典ポイント利用の経費を、次年度以降は積立金から特產品振興として支出することを検討しているとのことである。

本委員会は、人口減少抑制対策にふるさと納税を活用することに賛同するとともに、その施策に期待する。

したことにあり、入札時及び業者選定後の適時に会社の業績及び内容を把握すべきであることを厳しく指摘した。

今後は、委託の方針・ダイヤと車種の取扱選択・車両の支払い等、多岐多様にわたり総合的に見直し・検討を行うとともに、未だ返還がない委託料の過払金については、法度以降は積立金から特產品振興として支出することを検討しているとのことである。

本委員会は、人口減少抑制対策にふるさと納税を活用することに賛同するとともに、その施策に期待する。

【財務部企画財政課】

予想を大きく上回るふるさと納税について、寄附金額の50パーセント相当になる特典ポイント利用の経費を、次年度以降は積立金から特產品振興として支出することを検討しているとのことである。

本委員会は、人口減少抑制対策にふるさと納税を活用することに賛同するとともに、その施策に期待する。

産業建設常任委員会

委員会開催日 12月9日

(文責・山内政夫委員長)

今回、本委員会に付託を受けました案件は議案12件で、審査の結果、原案可決しました。

(【】は所管課名)

指定管理料について

平戸オランダ商館指定管理料について実績報告があり、入館者数が開館当時示した目標数値と比べて1万5千人も減少しているとのことであつた。

委員から、企画展の中には違和感を抱くものがあり、大衆向き、若者向きの企画をすべきではないか等の意見が出されました。

入館者の減少については、担当課も指定管理者側も危機意識を持って、今後の事業計画を考えているとの答弁がされました。

あづち大島いさりびの里事業について

平成23年度から利用者が順調に伸びており、指定管理者の努力が認められる。

世界遺産登録に対する取組及び構成資産について

指定管理料は、観光インフォメーションに係る経費を差し引いた額が適切ではないかとすることで委員会の意見が一致

委員会開催日 10月9日

(文責・山内政夫委員長)

あつた。

委員会としては、不安が払拭できず、今後数年間の経営計画を立てる必要を要請すると共に、改善策の協議を申し入れた。

文化観光部文化交流課

「田平港シーサイドエリヤードエリア活性化施設指定管理料」について、観光インフオーメーションの入件費を田平港シーサイドエリヤードエリア活性化施設指定管理料に含めていることに対し意見があつた。

基本的に、物販事業に性格が異なる観光案内事業を混在させて指定管理とすることについて、業務内容整理の必要性がある。

指定管理を受けている団体の経営環境及び決算状況から、指定管理料は、観光インフォメーションに係る経費を差し引いた額が適切ではないかと

した。

市側の判断を求めたところ「委員会の意見に沿って観光インフオーメーションの委託料はゼロ円で対応をする」との答弁があつた。なお、指定管理者としては、「観光案内は自主的に対応したい」との意向を持つていることが伝えられた。

また、世界遺産登録に向けた観光案内のあり方については、新たな所管となる文化観光部と協議し、今後の事業対応をされるよう要請したが、その旨の協議をしていくとの答弁があつた。

産業振興部商工物産課

「田平港シーサイドエリヤードエリア活性化施設指定管理料」について、観光インフオーメーションの人件費を田平港シーサイドエリヤードエリア活性化施設指定管理料に含めていることに対し意見があつた。

基本的に、物販事業に性格が異なる観光案内事業を混在させて指定管理とすることについて、業務内容整理の必要性がある。

指定管理を受けている団体の経営環境及び決算状況から、指定管理料は、観光インフォメーションに係る経費を差し引いた額が適切ではないかと

委員会開催日 10月9日、11月19日

(文責・山内政夫委員長)

答弁があつた。なお、指定管理者としては、「観光案内はゼロ円で対応をする」との答弁があつた。なお、指定管理者としては、「観光案内は自主的に対応したい」との意向を持つていることが伝えられた。

文化観光部文化交流課

「田平港シーサイドエリヤードエリア活性化施設指定管理料」について、観光インフオーメーションの入件費を田平港シーサイドエリヤードエリア活性化施設指定管理料に含めていることに対し意見があつた。

基本的に、物販事業に性格が異なる観光案内事業を混在させて指定管理とすることについて、業務内容整理の必要性がある。

指定管理を受けている団体の経営環境及び決算状況から、指定管理料は、観光インフォメーションに係る経費を差し引いた額が適切ではないかと

ついた生月や平戸西岸地域の中でも現在もその集落形態がよく保全されている地域であるとのことであつた。

田平天主堂については、解禁後の移住集落形成のあり方を示すもので、教会づくりのことを再認識し、子どもたちの健やかな成長を願いながら、信頼できる調査委員による信頼できる調査を行った。

総務部総務課

ことそこが、いじめを許さない社会づくりの第一歩であることを再認識し、子どもたちの健やかな成長を願いながら、信頼できる調査委員による信頼できる調査を行った。

私達大人が人権を尊重する子どもの言動は大人に学ぶところ多く、子ども社会は大い社会の縮図と言つても過言ではない。

結びに、調査委員には、公平性と透明性の確保を求める信頼できる調査委員による信頼できる調査を行った。

説明からは、「いつでも、どんな事案でも、相談・調査できる」と解するが、①市長部局は、あらゆる相談に對処できるのか、実態の解明能力を持ち合わせているのか。②現場に近い学校・教育委員会の調査終了を待たずに行う調査があつた。

説明からは、「いつでも、どんな事案でも、相談・調査できる」と解するが、①市長部局は、あらゆる相談に對処できるのか、実態の解明能力を持ち合わせているのか。②現場に近い学校・教育委員会の調査終了を待たずに行う調査があつた。

成26年10月1日」としている施行期日を「公布の日」に改める修正案の提出があつた。

平戸市議会だよりとかいせん 第42号 2015.2.1発行

びモデルコースについて紹介することを検討しているとのことだつた。

委員会としては、QRコードの利用等を含めて早急に対応策を研究・検討するよう要請した。

次に、観光モデルコース設定について説明があつたが、委員からコース毎の所要時間を示す必要があるとの指摘がされ、理事者から改善するとの答弁があつた。

また、春日地区への誘導は、現在も駐車場の問題から「島の館」からのシャトルバスを用意し、現地では電動アシスト自転車の貸し出しにより、棚田等の見学に利用され好評との報告があつた。今後、棚田見学は、電動自転車が周遊できるような道の整備計画を行い、さらに現時点では、公民館を利用した案内所を設置しているが、空き家古民家を再生し、地域住民とともに方イダンス機能を作り上げていく予定との説明があつた。

委員から、乗用車利用の観光客がシャトルバスを利用するためには、しつかり周知すること、対応策の真剣な検討が決定した。

(【】は所管課名)

財政状況について

平成25年度一般会計決算は、歳入総額238億4千666万4千円、歳出総額232億8千639万4千円で、歳入歳出差引5億6千27万円のうち繰越事業の財源3億3千679万4千円を差し引いた2億2千347万6千円が実質収支である。

財政運営の状況は、経常収支比率が87・2%で、実質公債費比率の改善や市債残高の縮減は評価すべきところであります一方、依然、財政力指数(0・

決算特別委員会

委員会開催日 9月17、18、19、24、25、26日

(文責・松山定夫委員長)

「平成25年度平戸市一般会計決算認定について」「平成25年度平戸市各特別会計決算認定について」「平成25年度平戸市各事業会計決算認定について」は認定すべきものと決定した。

（【】は所管課名）

『コミュニティ推進事業』について、少子高齢化等による厳しい財政運営を余儀なくされた本市においては、事業が果たす役割は大きい。

環境と生業に育まれた地域共同体こそが地域コミュニティであり、防災対策や高齢化対策においても、「共助」が欠かせないことから、これまでに培われてきた地域共同体を活かすことこそが事業推進の近道であり、これを壊してしまったような事業の推進であつてはならないと考える。

ゆえに、地域住民に理解と信頼を得る時間を惜しまず、地域の声に耳を傾け、それぞれの地域に合った本市独自の

ことだつた。

委員会としては、QRコードの利用等を含めて早急に対応策を研究・検討するよう要請した。

次に、観光モデルコース設定について説明があつたが、委員からコース毎の所要時間表示が必要があるとの指摘がされ、理事者から改善するとの答弁があつた。

また、春日地区への誘導は、現在も駐車場の問題から「島の館」からのシャトルバスを用意し、現地では電動アシスト自転車の貸し出しにより、棚田等の見学に利用され好評との報告があつた。今後、棚田見学は、電動自転車が周遊できるような道の整備計画を行い、さらに現時点では、公民館を利用した案内所を設置しているが、空き家古民家を再生し、地域住民とともに方イダンス機能を作り上げていく予定との説明があつた。

委員から、乗用車利用の観光客がシャトルバスを利用するためには、しつかり周知すること、対応策の真剣な検討が決定した。

(【】は所管課名)

財政状況について

平成25年度一般会計決算は、歳入総額238億4千666万4千円、歳出総額232億8千639万4千円で、歳入歳出差引5億6千27万円のうち繰越事業の財源3億3千679万4千円を差し引いた2億2千347万6千円が実質収支である。

財政運営の状況は、経常収支比率が87・2%で、実質公債費比率の改善や市債残高の縮減は評価すべきところであります一方、依然、財政力指数(0・

が必要であると意見があつた。

春日地区の棚田維持について、耕作者の高齢化で先々心配であり、今後耕作放棄の事態も考えられるが、どのように考えているのか等、今後の重要な課題となる質問があつた。市側から中山間事業の活用など、白石地区との連携も図りながら維持していく方法を検討すると回答を地元より得ており、農林部局等とも協議しながら対応していきた

いとあつた。また、委員から春日地区、白石地区を含めて、関係者との合同協議の場を持つようにと意見があり「実施する」との答弁があつた。

委員から、全体的にこの構成資産は、背景や歴史を知り理解した上で見るかどうかで、大きく評価が変わるものである。どうやつたら観光客に価値を見出してもらえるのかと、またその準備ができるのかという重要な問い合わせがあつた。

次に、拠点施設の個所数と場所及びその内容について計画の説明があつた。これについては、新たにできる情報センターや永田記念図書館などを情報発信の場、拠点施設の

業務について現状と計画の説明があつたが、在、県事業で教会守が配置されているが平成26年度限りの事業であるため、後をどうするのか検討課題であること。

また、3つの構成資産の管理を検討すると回答を地元より得ており、農林部局等とも協議しながら対応していきたいとあつた。また、委員から春日地区、白石地区を含めて、関係者との合同協議の場を持つようにと意見があり「実施する」との答弁があつた。

委員から、全体的にこの構成資産は、背景や歴史を知り理解した上で見るかどうかで、大きく評価が変わるものである。どうやつたら観光客に価値を見出してもらえるのかと、またその準備ができるのかという重要な問い合わせがあつた。

次に、拠点施設の個所数と場所及びその内容について計画の説明があつた。これについては、新たにできる情報センターや永田記念図書館などを情報発信の場、拠点施設の

業務について現状と計画の説明があつたが、在、県事業で教会守が配置されているが平成26年度限りの事業であるため、後をどうするのか検討課題であること。

また、3つの構成資産の管理を検討すると回答を地元より得しており、農林部局等とも協議しながら対応していきたいとあつた。また、委員から春日地区、白石地区を含めて、関係者との合同協議の場を持つようにと意見があり「実施する」との答弁があつた。

田平天主堂については、現

いかとの意見が出され、貴重な意見で今後検討していくとの答弁があつた。

田平天主堂については、現

いかとの意見が出され、貴重な意見で今後検討していくとの答弁があつた。

文教厚生委員会

委員会開催日 12月10日
(文責・川上茂次委員長)

今回、本委員会に付託を受けました案件は承認1件、議案12件、請願1件で、審査の結果、原案のとおり承認、可決、及び採択しました。

ここでは、特に審査の中で出された主な意見、要望などをお知らせします。

（【】は所管課名）

（